

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

株式会社エポック

安全に対する投資を惜しまない

平成16年に設立。貨物運送事業から始まり、バス・観光へと事業を拡大しています。特に運輸安全マネジメントでの高い評価や貸切バス事業者安全性評価認定制度 三ツ星を取得するなど、安全に関する取り組みは運送業界の中でも極めて高いレベル。企業や小中学校のバス送迎も行い、地元から厚い信頼を得ている企業です。

ご利用機器

- e点呼セルフ Type ロボケビー
- ALC-PRO II
- ALC-Mobile III
- IC運転免許証リーダー



導入のきっかけ

未来を見据えた安全性向上への積極的投資

2012年関越自動車道で起きた高速バス居眠り運転事故を契機に、バス事業者に対する安全規制が厳格化されることが考えられました。

そこで、当社は2013年に貸切バス事業者安全性評価認定の申請を行うにあたり、運行管理における安全性のさらなる向上を目指し、免許リーダーをはじめとする高性能なアルコール検知器の導入を積極的に進めてきました。



製品導入による効果・感想

自動点呼機器の導入で実現した効率的な安全管理

2024年4月より、貸切バス事業における点呼の運用が厳格化されました。新たな規制に対応するために、当社では2024年3月に先んじて東海電子の『e点呼セルフTypeロボケビー』を導入しました。導入費用やランニングコストは発生しますが、これまで対面で行っていた運行後の点呼をセルフ方式で実施することで、人件費の削減という点で大きな効果を実感しています。

今後の展望

ハードとソフト、両輪で推進する安全経営

当社は、安全への取り組みを積極的に行っています。

運転者の高齢化に伴う健康起因事故の防止に向けた取り組みでは、脳ドックやSAS（睡眠時無呼吸症候群）の簡易検査などを積極的に実施し、運転者の健康状態を継続的に把握して、事故リスクの低減に努めています。

また、車両の安全性向上に関しては、最新の安全装置が備わった車両への計画的な入れ替えを進めており、ハード面からも事故防止対策を徹底しています。

そして従業員の安全意識向上のために、NASVAIによる外部安全講習会を年2回開催するなど、定期的な研修を行っています。今後も安全に対する意識と知識の向上に継続的に取り組んでまいります。



安全コストをかけない企業は継続できない

エポックバス

取材ご協力

株式会社エポック

代表取締役 松本 仁孝 様



住所：〒437-1614 静岡県御前崎市塩原新田1269
TEL：0537-85-5320

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。